

画面検証のための色付けの例

画面での目視検証は、エラー箇所だけ抽出するチェッカーの補完として使用している。

エラー箇所だけ抽出すると、時に膨大な数のチェック箇所が検出されることがある。その場合、正誤の判断に時間がかかる。

一方、色付けした画面検証では、文脈の中で正誤の判断ができるので、チェック箇所が多くても見逃しがほとんどなくなる。

空行の場合、「」を行末に挿入し、通常の改行には「」を挿入する。

■ 次の行は空行です。

行頭に全角スペースや開始の約物がない行には「」を挿入する。

この行は開始の約物がない。

全角スペースは■に置き換える。

■ この行は行頭に全角スペースが入っている。

■ ■ ■ ■ この行は全角スペースで字下げ【要改行確認】

■ 不要なスペースが行末にあります。■ 【要改行確認】

■ 不要なスペースあり。■ 不要なスペースあり。

字下げ、字上げ、突き出しインデントを指定している段落は**darkgreen**で着色する。↩

この段落は頭1字下げ、折り返し1字マイナスインデントが指定されています。↩

9字以上の字下げ、字上げは修正対象となるので段落全体を**magenta**に着色する。↩

10字下げ折り返し1字下げ9字下げ折り返し1字下げ9字下げ折り返し1字下げ↩

下寄せは**darkred**に着色する。↩

下寄せ下寄せ下寄せ下寄せ下寄せ↩

ゴシック・ボールド・文字サイズ100以外に着色する。

ゴシック指定…slategray ↩

ボールド指定…slategray ↩

文字サイズ80%…royalblue ↩

文字サイズ90%…red ↩

文字サイズ110% = darkgoldenrod ↩

文字サイズ120% = darkcyan ↩

イタリック体 = limegreen ↩



H2見出しリンク ■ firebrick

H3見出しリンク ■ olive

H4見出しリンク ■ steelblue

H5見出しリンク ■ steelblue

H6見出しリンク ■ steelblue

gaiji' gaiji-line' gaiji-wideの指定の画像外字は【
】で囲む。↩

↩ 全角の画像外字は、【2²】、【+】となる。↩

↩ 1字幅高さなりゆき (gaiji-line) は【 $\sqrt{256}$ 】、高さ1字分で
横はなりゆき (gaiji-wide) は【 $\sqrt[12]{2}$ 】となる。↩

↩ 繰り返し文字にはmaroonで着色。↩

↩ 紙の組版で行をまたいだため繰り返し符号にしなかった例と
して、人人、様^様などがある。↩

↩ 疑問符と感嘆符に色をつけ、全角スペースが落ちて
いないかどうか確認する。↩

↩ 使用できる全角の感嘆符、疑問符は、
? ■ ! ■ !! ■ ??

■?! ■!?. ↩

↩ 縦中横指定の半角の感嘆符、疑問符!?. ↩

平仮名にルビ文字がはみ出してついている場合、
【ルビチェック】を追加する。↩

鮮やかな赤色ちやくしよくに着色す【ルビチェック】る。↩

※被ルビ文字直後の平仮名にルビがついている。↩

鮮やかな赤色【ルビチェック】ちやくしよくに着色する。↩

※被ルビ文字直前の平仮名にルビがついている。↩

全角文字間の「【半角】」「【半角】」「【半角】」「【半角】」は【半角】で囲む。全角に修正する。↩

全角文字の間では、【半角】、あるいは【半角】となる。↩

使用しないネームエンティティ" (半角)と
' (半角)に着色する。↩

赤で「【使用禁止】」と「【使用禁止】」に着色する。↩

縦中横の可能性のあるものにマゼンタ色をつける。

【半角英字2字まで、半角数字3字までを着色】

■ a あい ab うえ 1 おか 12 きく 123 け、 aa うえ 1 おか 12 きく 123

【半角英字1字（数字2字まで）＋縦中横で使用できる記号1字を着色】

■ あい-a あい-ab うえ-1 おか-12 きく-a 1 け+123、 -a あい-ab うえ-1 おか-12 きく-a 1 け+3

【縦中横で使用できる記号＋半角英字1字、数字2字までを着色】

■ 1- あい a/ あい ab- うえ 22- おか x1- きく-a+ け 123-、 22- おか x1- きく-a+ け 23-

【縦中横で使用できる「記号＋記号」を着色】

■ (- あい*+ あい+ うえ#- おか+++ きく(-) け、 (- あい*+ あい+ うえ#- おか+++ きく(-))

【半角英字と半角数字の組み合わせは2文字までを着色】

■ あい a1 うえ 1x おか 2z きく d10 け 12a キ 123 け、 a1 うえ 1x おか 2z きく d10 け 12a キ 12a キ 1a 1

【半角記号が半角数字に挟まれる場合は着色】

■ 1-1 や 3/5 は3文字なので着色。

不正改行の可能性がある行には、【要改行確認】が入る。 ↩

↩ ■全角空きで始まり、行末に約物がないもの 【要改行確認】

↩ 「カッコ類で始まり、行末に受けカッコ類がないもの 【要改行確認】

↩ (カッコ類で始まり、行末に受けカッコ類がないもの 【要改行確認】

↩ 閉じ括弧類、句点など通常行末にある約物で終了しない行の次の行が全角スペースなどで開始していない場合、【要改行確認】が入る。 ↩

↩ ■この行は句点で終わっていない 【要改行確認】 ↩
この行は開始の約物がない。 ↩

縦中横指定のない1文字のギリシア文字、キリル文字はマゼンタに着色。Kindleでは正立するため、底本が横倒しの場合、画像外字とする。

円周は、 π を求める。

ϕ 2や ϵ Aや、IGや、 π など。

縦中横指定のある1文字のギリシア文字、キリル文字はブルーに着色。底本が正立ならば修正は不要。

ϕ という単位。 π という文字。

音声記号として使用される可能性のある1字のギリシア文字[θ]と[β]は、マゼンタに着色。底本が横倒しの場合は、Kindleでは正立するため、画像外字とする。

例：国際音声記号[θ] [β] [θ ns] [β ns] など。

縦書き中の半角文字列の中で使われている縦中横指定は、**magenta**色に着色。 ↩

↩
George Kennan, *Memoirs, 1925-1950*, Atlantic City, 1967, p. 29. ↩
George Kennan, *Memoirs, 1925-50*, Atlantic City, p. 29. ↩

↩
半角文字列中の№ (U+2116) および'ーやーなどの全角の時計文字は【】で囲む。 ↩

↩
修正前 : Meigs, Anna, 1978, "A Papuan Perspective
【Ⅲ】", *Man*, Vol. 【H】 , 【2】 2. ↩
修正後 : Meigs, Anna, 1978, "A Papuan Perspective VIII",
Man, Vol.II, No.2. ↩

↩
半角アルファベットを囲むダブルミニユートの場合、【】で囲みで注意を喚起。 ↩

↩
底本で“love”だがデータでは【love】となっている。

縦中横で使用できない3ケタの組み合わせがある場合、【】で囲み、【tcyではなく画像に】のアー
ト表記。 ↩

たこやき 【vs.】 【tcyではなく画像に】 お好み焼き ↩

前後にアキのないカンマは【】で囲み、注意喚
起。 ↩

the West 【,】 s Afghanistan Campaign ↩

底本では正字の可能性がある俗字はマゼンタでアラ
ート表示。底本が俗字であれば修正しない。 ↩

背の低い 【灌⇓灌⇓】 字形をチェック【】 木が広がる。 ↩

ルビと圏点を併用している場合、ブラウザによっては圏点を表示しないことがあるため、該当文字の直後に【圏点／ルビ同時使用につき要修正】とアラート表示。 ↩

この漢字【圏点／ルビ同時使用につき要修正】だけは圏点とルビを指定している。 ↩

super (縦組み⇨右寄せ／横組み⇨上付き)、
sub (縦組み⇨左寄せ／横組み⇨下付き)、小書き
文字 (kogaki)、訓点 (kuntten)、訓点送り
(kuntten-okuri) に着色。 ↩

superがmediumvioletred に着色 ⇨ 「CO₂」 ↩

subがroyalblue に着色 ⇨ 「NOx」 ↩

小書きは blueviolet に着色 ⇨ 「アイヌ語のネロクとは」 ↩

訓点は orangered、訓点送りは darkcyan に着色 ⇨ 「春眠不覚曉エ」。 ↩

「ページ／頁／P／p／P／p」など、固定ページの表現と思われる表現を【】で囲む。↩



本書の【二〇四ページ】で見たように／本書の【2045ページ】で見たように／本書の【2ページ】で見たように／本書の【20ページ】で見たように／本書の【204ページ】で見たように↩

本書の【前ページ】でみた／【前のページ】でみた／【まえのページ】でみた／【次ページ】でみた／【次のページ】でみた／【つぎのページ】でみた。／これまでのページで見たように↩

本書の【二〇四頁】で見たように／本書の【204頁】で見たように／本書の【2頁】で見たように／本書の【20頁】で見たように／本書の【204頁】で見たように↩

本書の【前頁】でみた／【前の頁】でみた／【まえの頁】でみた／【次頁】でみた／【次の頁】でみた／【つぎの頁】でみた。／これまでの頁で見たように↩

ここの【上の図】にあるように、【上図】にあるように、【下の図】にあるように、【上の表】にあるように、【下の表】にあるように、【下の第20表】にあるように。↩